

【準特選】

言葉づかいについて

七浦小学校 六年 松本 咲空

わたしは、よくパパとママから口が悪いといわれます。

例えば、だれかに指示をするときに自分では、ふつうに言っているけど、聞いている人にはきつく言われているから、もうちょっとやさしく言ってくれないとよく言われます。

ですが、わたしは、他の人から責められるような言い方をされたら、もちろん面白くないし、悲しくなる。そういうことが何回もあります。どうして何度も同じ言い方で言うかを考えてみました。

わたしは、意見を相手におし付けているのではないかと思いました。例えば、妹と話しているときも強い言い方で

言ってしまい、妹を泣かすことがあります。でも、自分が

言っていることを相手に理解してもらえないと、気持ちが変わってつい強い言い方になってしまいます。

わたしの言い方をみていた、ママとパパは

「あんな言い方をしたら、妹たち泣いてしまうよ。」
と言われ、わたしは、

「そんな強く言ってるよ。」

と言いましたが、学校で友達をいやな気持ちにさせて、友達がこなくなったたらどうしようと、心配になりました。

お母さんにも、

「友達にそんな強い言葉を言ったら、トラブルになるよ。」
と言われました。

わたしは、パパとママと話しながら、いろんな人から注意を受けたことにきちんと耳をかたむけ、これからは相手

のことを考えて、強い言葉をあんまりつかわないことをい
しきして生活しようと思いました。

言葉は、言い方によって相手の気分をよくさせることも
できるし、いやな気持ちにしてしまうこともあります。自
分が言われる方だとすると、気分がよくなる言葉をかけて
ほしいです。相手も同じことを考えていると思います。

これからは、何かする時には、

「お願いします」

と気持ちをこめて、相手に自分のことが伝わるように努力
していきたいです。